

財政学 A		准教授 小松原崇史	
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目、会計ファイナン スコースの専門選択科目、 経営・経済コースの専門選 択科目、教職科目	科目ナンバリング	23222205 25320219

1. 授業のねらい・概要

主に日本の財政についての基礎的な内容を説明する。本科目の履修にあたっては、「経済学基礎」を履修済みであることが望ましい。

2. 授業の進め方

講義形式で授業を行う。適宜プリントを配布し、学生の理解をはかる。理解度に応じて、以下の授業計画は、多少変更する可能性がある。

3. 授業計画

1. はじめに	9. なぜ政府の財政は悪化したのか
2. 効率性が求められる幅広い行政サービス	10. 財政収支と債務残高の関係
3. 増加が著しい医療・介護の費用	11. 政府債務が増え続けるとどうなるのか
4. マクロ経済スライドがポイントの年金	12. 最も身近な所得税
5. 少子高齢化と政府の歳出構造の関係	13. 社会保障の財源である消費税
6. 予算の決まり方	14. 高齢化で増加する社会保険料
7. 国債はどのように発行されているのか	15. 後半のまとめと復習
8. 前半のまとめと復習	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講後、その回の内容を復習する。そのためには、毎週2から3時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

解答を試験終了後に掲示する。

6. 授業における学修の到達目標

日本の財政についての基本的な知識を習得する。

7. 成績評価の方法・基準

期末試験（100%）により評価する。

8. テキスト・参考文献

参考書として、川村・道盛・大和総研『明解 日本の財政入門』2016年、きんざい を使用する。

9. 受講上の留意事項

私語を厳禁とする。守れない学生に対しては、直接注意を行い、改善が見られない場合には退出を求める。